



シンガポール

NCB 海外レポート

スマート・シティ「シンガポール」の都市風景⑬

～ジョホール・シンガポール経済特区で更なる発展を～

◇ はじめに

- ・ シンガポールとマレーシアが経済連携強化を進めています。本稿では「ジョホール・シンガポール経済特区（以下「JS-SEZ」）」の紹介を中心に、最近の両国間の取組みをお伝えします。

◇ ジョホール・シンガポール経済特区とは

- ・ 2024 年 1 月 11 日、シンガポールとマレーシアは、両国国境に接するマレーシア・ジョホール州に JS-SEZ を設置し、共同開発を行うことについて合意する覚書を交わしました。
- ・ マレーシア最南端に位置するジョホール州は、地理的な近さもありシンガポールとの経済的な結びつきが強く、製造業に限って言えば、同州の外国直接投資総額の 70% をシンガポールが占めています。JS-SEZ の共同開発の背景には、マレーシア-シンガポール間のモノや人の移動、投資手続きの円滑化等をとおして、さらなる地域の経済発展を目指す狙いがあります。
- ・ JS-SEZ の設置は、今年中に両政府間で最終合意に至る予定ですが、具体的には、①ジョホール州の会社がシンガポールでビジネスを行うために必要な許認可をワンストップで取得できる拠点の設立、②パスポート不要の通関システムの導入、③検問所における貨物通関プロセスのデジタル化、④再生可能エネルギー分野での協力推進等が検討されています。

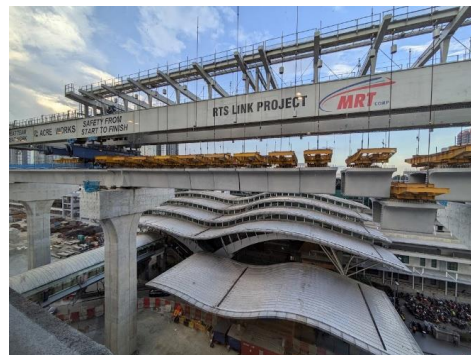


◇ 2026 年 高速鉄道「RTS リンク」の開業にも期待

- ・ シンガポールとジョホール州を結ぶ高速鉄道「RTS※リンク」の建設も進んでいます。2024 年 5 月末時点で約 80% の工事が完了しており、2026 年末の開業を目指しています。

※Rapid Transit System（高速輸送システム）の略

- ・ シンガポールとジョホール州は現在 2 つの橋でつながっており、越境通勤・通学者や運送業者などで毎日 30 万人、14 万 5,000 台の車両が往来しています。越境するだけで 3 時間を要することもあり、世界で最も混雑する検問所とも言われています。
- ・ RTS リンクの最大輸送能力は 1 時間あたり 1 万人におよび、移動時間も約 6 分となることから、上述のパスポート不要の通関システムとの組み合わせにより大幅な混雑解消・人流の円滑化が見込まれています。
- ・ JS-SEZ の設置や RTS リンクの開業により、ヒト・モノの動きが一層活発になり、新たな国境経済圏が生まれることが期待されていることから、今後は、シンガポールのみに留まらず、同経済圏を俯瞰して投資環境を理解する必要性が高まりつつあります。



国境付近で進む RTS の工事
撮影：シンガポール駐在員事務所

2024 年 08 月 16 日作成
西日本シティ銀行シンガポール駐在員事務所